

● 世界経済そのもののポートフォリオ

——「一つだけ」より「いくつか」が安心

ちょっと買い物を想像してみましょう。

いつも行くスーパーが一軒だけだったとします。

近いし、安いし、何でもそろろう。

とても便利です。

ところが、そのスーパーが突然お休みになったら？

「困ったなあ……」

となりますよね。

でも、

近くにスーパーがもう一軒ある。

少し遠いけれど、別のお店も知っている。

そうすれば、一軒がお休みでも何とかできます。

実は今、世界の工場でも、これと少し似たことが起きています。

1. 一か所に集めると、とても便利

世界では長い間、たくさんの商品が中国で作られてきました。

スマートフォン。

家電。

洋服。

機械。

いろいろな工場が集まると、とても便利です。

近くで部品が手に入る。

運びやすい。

作り方を知っている人もたくさんいる。

だから、

「ここでまとめて作った方が便利だ」

となりました。

これは悪いことではありません。

とても効率の良い方法です。

2. でも、一か所だけだと困ることもある

ところが問題もあります。

もし工場が止まったら？

部品が届かなくなったら？

船が動かなくなったら？

一つの場所に全部集めていると、そこで問題が起きたとき、みんなが困ります。

そこで企業は考えます。

「もう一か所でも作れるようにしておこう。」

中国でも作る。

インドでも作る。

ほかの国でも作る。

そうすれば、一つの場所で問題が起きても、全部が止まるとは限りません。

3. 卵を一つのカゴに入れない

こんなたとえもあります。

10個の卵を、一つのカゴに全部入れます。

もしカゴを落としたら……

全部割れてしまうかもしれません。

でも、

5個はこちら。

5個は別のカゴ。

と分けておけば、一つを落としても全部は失いません。

世界の企業も、少し似たことを考え始めています。

「一つの国だけに全部を任せるのは、ちょっと心配だな。」

というわけです。

4. Appleも同じように考えている？

例えばiPhone。

長い間、中国がとても重要な生産場所でした。

でも今は、インドでもたくさん作るようになっています。

これは、

「中国をやめよう」

という単純な話ではありません。

中国でも作れる。

インドでも作れる。

そんな形にしておけば、何かあったときに安心です。

5. これを「ポートフォリオ」と考えてみる

「ポートフォリオ」。

ちょっと難しそうな言葉ですね。

でも、ここでは簡単に、

「一つだけに頼らず、いくつかに分けて持っておく」

くらいに考えてみましょう。

中国だけ。

ではなく、

中国も。
インドも。
日本も。
アメリカも。
ほかの国も。

世界全体が少しずつ、

「一つに集める」から「いくつかに分ける」

方向へ動いているように見えます。

これを、

「世界経済そのもののポートフォリオ」

と考えるわけですね。

6. 日本はどこにいる？

ここで日本も登場します。

スマートフォンや自動車などには、日本企業が作った部品や材料がたくさん使われています。

だから工場が中国からインドへ動いたとき、

「日本には関係ないね」

とは限りません。

むしろ、

「その新しい工場では、日本の何が使われるんだろう？」

と考えると面白くなります。

今日覚えて帰るのは一つだけ

難しい言葉は忘れても大丈夫です。

今日の話は、これだけです。

一つの場所だけに全部を任せるより、いくつかの場所でできる方が安心。

スーパーも。

卵のカゴも。

工場も。

考え方は似ています。

今度、

「インドに新しい工場」

というニュースを見つけたら、

「あれ？」

としてみてください。

「世界が卵のカゴを分け始めたのかな？」

それだけで十分です。

そこから、

「なぜだろう？」

が始まります。

NIGHT FLIGHTは、そこから離陸です。✈